# 公益財団法人 日本骨髄バンク 第22回通常理事会 議事録

1　日　時　令和5年3月10日（金）　17時10分～17時50分

2　開催方法　コロナ禍の影響によりWEB会議形式で開催
（本会議をWEB開催することに関して全理事の同意を得た）

3　定足数　理事現在数14名中、出席12名
（1）出席　：　12名（以下順不同、敬称略）
小寺 良尚（理事長）、佐藤 敏信（副理事長）、浅野 史郎（業務執行理事）
加藤 俊一（メディカルディレクター）、石丸 文彦（理事）、鈴木 利治（理事）
瀬戸 愛花（理事）、高橋 聡（理事）、橋本 明子（理事）、日野 雅之（理事）
福田 隆浩（理事）、三田村 真（理事）
注）定款第46条に規定する理事現在数の過半数を充足し、本理事会は成立した。
（2）欠席　：　2名
岡本 真一郎（副理事長）、鎌田 麗子（理事）
（3）出席監事　：　2名
椙村 岳央（監事）、藤井 美千子（監事）
（4）陪席　：　1名
山崎 翔（厚生労働省健康局難病対策課移植医療対策推進室室長補佐）
（5）傍聴　：　0名
（6）事務局　：　9名
小川 みどり(事務局長兼医療情報部長兼広報渉外部長)
田中 正太郎（総務部長）、中尾 るか（ドナーコーディネート部長）
関 由夏（移植調整部長）、渡辺 良輝(広報渉外部長代理)
戸田 泉（ドナーコーディネート部ＴＬ）、竹村 肇（総務部）
荒井 茂（総務部）、上原 淳(総務部)

〔議 事〕

4　議長選出
審議に先立ち小寺理事長より挨拶があり、定款第45条の規定により小寺理事長が議長となった。理事会運営規則第3条に基づき事務局の出席が認められた。

5　議事録署名人の選出
議事録作成の議事録署名人は、定款第51条第2項により出席した理事長および監事が記名、押印するとされている。小寺理事長、椙村監事、藤井監事がこれに当たるとされた。

6　審議事項
第1号議案：令和5年度事業計画案と予算案の提示

７　報告事項

報告事項１：調整医師新規申請・承認の報告

報告事項２：寄付金報告

報告事項３：移植件数報告

８　審議事項の議事概要と結果（敬称略）

１）第１号議案：令和５年度事業計画案と予算案の提示

小川事務局長兼医療情報部長兼広報渉外部長が資料に基づき説明した。

前回と異なる部分だけ説明する。ＡＣジャパンによる広告・宣伝・ＰＲの部分である。これまで通りの駅やテレビ・ラジオでのＣＭ以外に、さらに大学・健診センター・自動車免許センター等でのポスター掲示を促進する。拠点病院との連携である。全国に 12 施設ある造血幹細胞移植推進拠点病院との連絡を密にし、引き続き移植最適時期での採取実現に取り組む。厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」の一環である「採取受け入れ可否情報共有Ｗｅｂサービス」というのがある。これは各地区の採取施設に入力していただくのだが、〇月〇日の採取が可能であれば〇、駄目であれば×を入力していただき、事務局では選定されたドナーの情報を見てここであれば採取をお願いできるということを見た上でドナーに選定されたと声をかけて行き調整をスムーズにして採取日までの期間を短くする。これを取り入れている地区事務局においては本サービスの採取受け入れ可能日枠の情報を効果的に活用し、ドナー選定から採取までの期間短縮につなげる。

田中総務部長が資料に基づき説明した。

前回収益が約 14 億 3100 万円、費用が約 14 億 5000 万円で約 1900 万円の赤字予算であること、収入面と支出面の要点を説明した。前回から質問や意見も特になかったので変更点はない。

審議の結果、第１号議案は全会一致で原案通り可決承認された。

９　報告事項の議事概要と結果（敬称略）

１）報告事項１：調整医師新規申請･承認の報告

中尾ドナーコーディネート部長が資料に基づき説明した。

令和５年２月１日から２月 28 日の期間に新たに申請・承認された調整医師の人数は２名、合計 1216 名である。

２）報告事項２：寄付金報告

渡辺広報渉外部長代理が資料に基づき説明した。

2023 年 2 月末の寄付金である。件数は 1013 件、金額 661 万 8143 円の寄付を頂いた。件数は過去 3 年と比べて多かったが、金額は前年度の 3 分の 2 までとはいかないが少なめであった。1 月は前年度よりも多かったが、これは 12 月の分が遅れて入っていることも見込まれている。

（主な意見等）
＜小寺＞　額も大事であるが、やはり件数は皆様の意思を伝えるものであるから大変ありがたいと思っている。

３）報告事項３：移植件数報告

田中総務部長が資料に基づき報告した。

2022 年度 4 月～2023 年 2 月末までで国内ＢＭが 650 件、国内ＰＢが 271 件、国際が 5 件で合計 926 件となっている。予算対比で 77％である。このまま行くと今年度は 1030 件前後になりそうな状況である。

（主な意見等）
＜小寺＞　昨年度にやや盛り返したと思ったが、少しずつ昨年度より差が開いてきてしまった。3 月でそれに近づくか逆転して欲しい。

10　業務執行状況報告

小寺理事長から業務執行状況の報告があった。岡本副理事長の業務執行状況を事務局が代読した。続けて佐藤副理事長、浅野業務執行理事が業務執行状況をそれぞれ口頭報告した。

以 上